

ひとなる

発行：白川町教育委員会

—「白川を愛し、たくましく心の

あったかい子を育む美濃白川」—

「ひといで」「仲間と」頑張る夏

学校・家庭・地域で

<6月29日(土)～ 中学校総合体育大会 地区大会 スタート >



中学校総合体育大会（中体連）は、現在、地区大会から始まります。過去は、郡大会がありましたが、生徒の減少や試合の過密による負担軽減のために、地区大会からのスタートとなっています。また、室内種目の多くは、空調の完備された場所で試合が行われおり、熱中症等の心配も軽減されています。

<6月29日(土) 7月13日(土) 海山研修の事前打合せ>



宮古島での研修を有意義なものにしようと、事前学習はもちろん、グループでの役割分担、スピーチの順番や内容等を考えました。宮古島の海の絶景を見に行くだけでなく、研修を通して「人前で一人で、相手を意識してスピーチすること」「白川以外の人との触れ合い」「自己見つめ」「多様な価値観に出会えること」等、学校ではなかなか学べないことを、この機会を通して、身に付けてほしいと願っています。そして、これまでよりも一つ大きな自分に成長するとともに、各学校に持ち帰ってみんなに、そのよさを広めてほしいと願っています。

<7月3日（水）5日（金）SOSの出し方教室>



教育と福祉の連携を大切にしています!!

7月3日（水）に黒川中1年生、7月5日（金）に白川中1年生が「SOSの出し方教室」の授業を行いました。この授業は、子どもが、現在起きている危機的状況や今後起こりうる危機的状況に対応するために、身近にいる信頼できる大人にSOSを出すことができること、周りにいる仲間適切に支援することを目的に行っています。子どもにとって、身近にいる大人は学校の教職員です。しかしながら、転勤もあり、長期間かわりあうことは現実的に大変困難です。そこで、白川町では、中学校1年生にこの授業を行うことで、白川町の職員として長期間にわたってかかわって見える保健福祉課の職員（保健師）の方を認知するとともに、長期間にわたって、子どもがかかわっていく（相談する等）ことができる場所を知り、状況に応じて活用することを願い、授業を行っています。

以下に、生徒の授業後の振り返りを載せます。

「今まで、友達の悩みを聞くときに、相手の顔を見て否定せず、同意しながら傾聴するといった聞き方については考えていませんでした。これからは、相手の話を真剣に聞き、思いを出しやすいような聞き手に徹することはもちろん、自分で解決が難しそうなことは、先生や親などの周りの大人に相談するようにしたいです。また、白川町では保健師さんが悩みを聞いてくれることもわかったので、相談するようなことがないとよいけど、もしあったら、自分はもちろん、仲間にも、『保健師さんに相談したら』と声をかけるようにしたいです。」

長い人生の中で、悩んだり、行き詰ったりすることは誰しもあることです。この生徒の振り返りをみると、「困難に一人で立ち向かうことも大切だ。でも、本当に悩んだ時には、周りに助けてくれる仲間や大人がいる。白川には保健師さんもいる」という生き方を身に付けてくれたように感じます。

8月の子どもたちの主な行事

8月24日（土）

海山交流（宮古島）で学んだことや成果を、発表します。

8月29日（木）始業式

夏休みの思い出を胸に、2学期がスタートします。節目を大切に、新たな気持ちで頑張ります。

